

投資者の皆様へ

2015年8月26日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について
ライオングローバル アジア カントリー・ファンド・シリーズ

平素はライオングローバルアジア カントリー・ファンド・シリーズ シンガポール投資ファンド、タイ投資ファンド、マレーシア投資ファンド(以下、「本ファンド・シリーズ」といいます。)をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2015年8月24日にシンガポール、タイ、マレーシアの株式市場が大きく下落したこと等を受けて、本ファンド・シリーズの基準価額が以下の通り下落いたしました。その要因についてご報告申し上げます。

1. 基準価額及び騰落率(8月25日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
ライオングローバル アジア カントリー・ファンド・シリーズ シンガポール投資ファンド	9,398	▲620	▲6.19
ライオングローバル アジア カントリー・ファンド・シリーズ タイ投資ファンド	9,648	▲755	▲7.26
ライオングローバル アジア カントリー・ファンド・シリーズ マレーシア投資ファンド	7,764	▲554	▲6.66

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

24日の世界の株式市場は、中国の景気減速懸念に端を発したリスク回避の流れを受けて大幅下落となりました。中国において市場が期待していた追加金融緩和策が打ち出されなかったことから、投資家の間に失望感が広がり、上海総合指数は前営業日比▲8.5%と大幅続落、アジア域内の株式市場も全面安の展開となりました。また、安全通貨である円を買う動きから、急速な円高ドル安が進行した結果、本ファンド・シリーズの組入れ資産の価格も影響を受け、各ファンドの基準価額が前営業日比で大きく下落いたしました。

シンガポール、タイ、マレーシアの主要株価指数の一つであるMSCIシンガポール、MSCIタイ、MSCIマレーシア各指数の24日の終値は、それぞれ9,472.205ポイント、828.920ポイント、300.681と前日比でそれぞれ▲4.45%、▲5.59%、▲4.35%の下落となりました。また、25日は日本円が米ドルに対して下落し、1米ドル＝118円90銭と前日比で2.32%の円高となりました。

本ファンド・シリーズは、MSCIシンガポール、MSCIタイ、MSCIマレーシアをベンチマークとする米ドル建てのシンガポール株式ファンド、タイ株式ファンド、マレーシア株式ファンドをそれぞれ主に組入れていることから、株式と為替の両方を要因として、25日の基準価額はそれぞれシンガポール投資ファンド▲6.19%、タイ投資ファンド▲7.26%、マレーシア投資ファンド▲6.66%の下落となりました。（※本ファンド・シリーズの基準価額は、組入れファンドの前営業日の1口当たり純資産価格が反映されます。）

当社では本ファンド・シリーズについて引き続き適時適切な運用を行うべく努力していく所存ですので、今後とも変わらぬご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

ライオングローバルアジア カントリー・ファンド・シリーズ

ファンドの費用

購入時手数料	購入申込金額に 3.24% (税込) を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額となります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産 留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して 0.3% を乗じて得た額を、ご換金(解約)時にご負担いただきます。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年 1.1232%(税抜:年 1.04%) を乗じて得た金額とします。なお、当該報酬は、毎計算期間の最初の 6 カ月終了日及び毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。この他、投資対象とする投資信託証券の信託報酬、年 0.65%(上限) を加えた実質的な負担※は年 1.7732%(上限) となります。 ※ 各ファンドが投資対象とする投資信託の信託報酬等を加味した、投資者の皆様が実質的に負担する信託報酬率になります。
その他の費用 及び 手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。
その他	※ 上記費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドにかかるリスクについて

【基準価額の変動要因】

本ファンドは、主に投資信託証券への投資を通じて外国の株式などの値動きのある証券を実質的な投資対象としますので、基準価額は変動します。組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状態の悪化等の影響により、その信託財産の価値が下落し、結果として本ファンドが損失を被ることがあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。特に、各ファンドは投資信託証券への投資を通じて、それぞれ実質的にシンガポール、タイ、マレーシアといったアジアの市場の株式等への投資を行います。一般的に、アジアの市場への投資は、先進国市場への投資と比較して、カントリーリスクや信用リスク等が高くなります。したがって、基準価額が大きく下落し、非常に大きな損失を被るおそれがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。本ファンドの基準価額は、主に以下のリスクにより変動し、損失を被るおそれがあります。ただし、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

<主な変動要因>

株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給等を反映して変動します。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。本ファンドは、投資信託証券への投資を通じて各ファンドそれぞれシンガポール、タイ、マレーシアの株式に投資を行います。投資を行う株式の大幅な価格変動等があった場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。

為替変動リスク

為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。本ファンドは、投資信託証券への投資を通じて外貨建資産を保有し、原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国や投資対象資産の為替レートが円高方向にすすんだ場合、基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

カントリーリスク

投資対象株式発行体が所在する国々は、金融市場や政情が不安定であることから、金融市場や政情に起因する諸問題が株価や通貨に及ぼす影響は、先進国より大きいことがあります。また、それらの国々における株式・通貨市場は規模が小さく、流動性が低い場合があり、結果としてそれらの市場で取引される株式・通貨の価格変動が大きくなる場合があります。さらに、それらの国々においては、政府当局が一方的に規制を導入したり、政策変更を行うことによって証券市場に対し著しく悪影響を与えることがあります。また、証券取引所、会計基準、法規制等に関する制度が先進国とは異なる場合があります、運用上予期しない制約を受けることがあります。この場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。

信用リスク

本ファンドが、投資信託証券への投資を通じて実質的に投資した株式について、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化は価格下落要因のひとつであり、これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、投資対象株式発行体が所在する国々の株式は、先進国の株式に比べ、相対的に信用リスクが高くなると考えられます。

流動性リスク

投資者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがあります。その際、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。特に、投資対象株式発行体が所在する国々は、先進国に比べ、相対的に流動性リスクが高くなると考えられます。

《投資信託ご購入の注意》

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。